



仁誠会通信

心ひとつ



やさしく
やわらかく
あたたかく

第38号
2024.4



目次

2-3 ● 2024年度を迎えるにあたり
仁誠会 理事長 田尻 哲也
仁誠会看護部長・仁誠会技士部長
仁誠会介護部長
仁誠会リハビリテーション科長・仁誠会栄養科長

4-5 ● 2023年度入職者～私たちの1年間の成長～

6 ● 職員募集のご案内





医療法人社団 仁誠会
理事長 田尻 哲也

平素より当法人の医療クリニックおよび介護施設をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

2020年から始まりました新型コロナウイルス感染症の対応が大きく変わり、流行以前の日常にようやく戻りつつあります今日この頃です。コロナ禍の間は患者さんや利用者さんにおかれましては大変ご不便をおかけいたしました。快くご理解とご協力をしていただきまして、本当に感謝しております。

一安心したところではございますが、次にやってきた問題は国による働き方改革により、今年度より建設業やトラック・バス・タクシードライバーだけでなく、医師の時間外労働の上限規制が適用されますため、社会全体の構造変革が起こってきます。

また、少子高齢化に伴う人手不足です。特に熊本県においてはTSMC工場の本格稼働により働き手の獲得合戦が激化しております。医療介護業界も労働人口減少により看護師や介護士不足は全国的に大きな問題になっております。

2024年度以降は大きく時代が変化するとされており、その時流をきちんと把握して、対応していく必要がございます。

諸行無常とは世のすべてのものは、移り変わり、また生まれては消滅する運命を繰り返す、永遠に変わらないものはないということです。私たち仁誠会も同じく諸行無常です。社会情勢に臨機応変に対応しながら、皆様一度きりの人生を後悔することなく充実したものにするために、安心安全な医療介護サービスを皆お届けしていく所存でございます。

2024年度は『変身 Transform』を合言葉に一人ひとりが現状に甘んじることなく成長する姿勢をもって頑張っていきます。宜しくお願い致します。

看護部

「患者に寄り添う」



仁誠会
看護部長
北野 良子

コロナが5類となり、はや1年、時代の流れは急速に変化しています。感染症にも対応しつつ、日々、看護師それぞれが自己研鑽を積んでいます。2023年度は、質の向上に寄与した出来事をご紹介します。

熊本CKD研究会での座長に始まり、九州フットケア足病変学会では、実技指導の依頼があり、また、企業からの講演依頼などもありました。他には、腎不全看護学会の発表や看護研究の支援に対する執筆依頼を受け、2024年3月専門誌への掲載など多岐にわたり活躍しております。他にもいろいろな資格取得者を輩出しております。常に、看護実践し、振り返り、前に進む力を身につけているからだと自負しております。

2024年度は、ACP（Advance Care Planning＝意思決定支援）に更に取り組みます。

この意思決定支援は、亡くなることを前提にするのではなく、今からの治療などにも広い範囲で使っていきたいと思えます。そのためには、患者さんに寄り添い、しっかり話を聞いて患者さんのニーズを把握しながら、揺れ動く気持ちを受け止めつつ（揺らぎ）、より良いサポートをし、貢献ができたと思えます。

今年には新たに、皮膚科の診療が増え、昨年の中ごろからは法人の中でPTAやシャント増設術が受けられるようになりました。また、フットケアは、形成外科と皮膚科と両方の視点で見ていただくことが可能となり、透析だけでなく幅広い診療科の補助をして患者さんに寄り添っていったらと思えます。

技士部

「仁誠会の透析」



仁誠会
技士部長
古賀 靖也

仁誠会の透析治療は、毎年調査される日本透析医学会統計調査結果と比べ全国平均より高い治療成績を収めています。

まずは粗死亡率です。日本透析医学会では2022年粗死亡率11%でしたが、仁誠会では粗死亡率7%でした。その他にも透析患者さんの骨・ミネラル代謝異常の指標になるカルシウムの目標値割合は全国平均が66.5%でしたが仁誠会では76.2%、リン目標値も同様に全国平均80.4%でしたが仁誠会では86.5%と高い結果になりました。透析技術的な部分では臨床工学技士、臨床検査技師で協力してシャント管理やエコー下穿刺を駆使して穿刺成功率99.8～100%を維持して、痛みが少ない患者さんに喜ばれる透析治療が実践できています。

また当法人透析患者の平均年齢は68.4歳で、日本人の高齢化とともに増加しており、高齢透析患者には、合併症、低栄養、日常生活動作（activities of daily living：ADL）の低下などの問題を認めることが多くなってきています。その様な問題に対して医師、臨床検査技師、臨床工学技士、管理栄養士、看護師など多職種と連携し透析患者にとって「きつくない透析」を目標に、しっかり食べて、しっかり運動して、血液透析や血液ろ過透析など、それぞれの患者さんに合った透析療法を実践して健康寿命を延ばす取り組みをしています。



「常に進化」



仁誠会
介護統括本部
東 健一

介護部門では、これまで介護の専門職、プロとしての自覚をもって、知識・技術面のスキルアップはもちろん、チャレンジ精神を大切に、やりがいアップ・働き方改革への取り組みを進めてきました。

その一つに、最先端の福祉施設を目標に掲げ、『赤とんぼ』の全ての施設・事業所において、多職種が連携し、ICT化・AIの導入など進め、現在では、パソコン（電カルソフト）やタブレット、インカムなどを使用し、ペーパーレス化と同時に、業務の効率化を達成しています。その他にも、WEB会議、音声入力・会議録作成ソフトなど最新の機器を導入し、現場以外での時間の削減、情報の共有も進んでいます。

結果として、一昨年から1日：8時間労働から7.5時間労働へ変更、残業もなく、有休消化率もアップし、職員満足の上につながっています。同時に、介護ロボットの導入も進め、職員の介護負担軽減、腰痛予防にもつながっています。これからも、最新の機器やシステムを導入し、職員の働く環境を大切に、未来を見据えた「カッコいい」介護・福祉への取り組みを進めていきます。

また、利用者さんの日々の生活の中で「できる事を奪わない」、「できない事を、できるように支援していく」日常の全てが自立支援を目標に、業務改善・職員の意識改革を進めてきました。1人の利用者さんをチーム（多職種が連携）で支え、個々のニーズに応じたサービスの提供をし、利用者さんへ「笑顔・元気・勇気」をお届けしています。

私たちは、これからも「赤とんぼで働いてみたい」、「赤とんぼでサービスを受けたい」と思ってもらえるように、常に進化し、チャレンジを皆で楽しんでいきます。



リハビリテーション科 「地域から求められるリハビリを目指して」



仁誠会
リハビリテーション科科長
小早川 博

リハビリテーション科の2024年度の目標は、大きく2つあります。

ひとつ目は、今年度は介護報酬改定の年でもあります。今までと加算要件が変更になるものや人員の配置基準が変わるものがあります。変化する医療・介護保険背景に対応していく事が、まずは今年度の最初のリハ科方針となります。

ふたつ目ですが、現在、仁誠会をご利用いただいている利用者の皆さんの『利用者満足度向上』を目指していきます。こちらは昨年同様、身体機能を回復出来るところは回復する手助けをする、回復出来ない後遺症として残る部分は、環境や福祉用具、治療用器具等を活用しながら出来ることを増やしていき、少しでも精神的にも身体的にも『快適に』生活出来るよう、自立支援に務めていきたいと考えています。そのため、ご利用者さんの必要に応じ、その根幹の体力・筋力をつけていただけるよう通所リハだけでなく、老健入所リハにもパワーリハビリ機器やエルゴメーター等導入し、体力アップ、筋力アップを図っていきたくと考えています。法人内の「特定有料老人ホーム」にも、入居者さんが使用できる範囲のトレーニング機器の導入検討も併せて行っていきたくと考えています。



「専門性を高め、自らの成長を楽しむ」



仁誠会
栄養科科長
赤塚 薫

仁誠会には現在12名の管理栄養士が在籍しています。

普段は施設内で患者さんや利用者さんに対し、栄養や食に関する支援を行っています。1人1人の状態に応じて主食の種類、おかずの大きさや硬さ、飲み込みやすさ、口元まで食物を運ぶ動作がスムーズに行えるよう補助具などの調整を行うことで、食事をしっかり食べることができ、栄養状態が良くなります。利用者さん達が元気になれる姿を見ると、とてもうれしく管理栄養士のやりがいを感じます。

また、私達は専門職として探求心や向上心を持ち、様々なことに挑戦したいと考えています。昨年は、日本病態栄養学会のレシピコンテストに2チーム応募したところ、見事最終選考に残り、審査員奨励賞をダブル受賞できました。レシピのテーマは「高齢者でもつくれる！サルコペニア予防 自宅でも持続可能な食事管理を」。当法人でもサルコペニア予防について、日頃から各職種と連携し入院・入所中から在宅まで、切れ目のない栄養ケアに取り組んでいます。その活動の成果が今回の受賞に繋がったと感じています。今後自分達の活動がより多くの人役に立てるよう、様々なチャレンジを続けていきます。



1年間の成長

ケアセンター赤とんぼ入所科3階 介護福祉士

私は大学を卒業し社会人として、介護福祉士として初めて赤とんぼへ入職しました。

入職して一カ月は、とにかく職場の先輩の動きを見よう見まねで動き、環境に慣れる事に精一杯でした。二ヶ月目からはプリセプターと共に本格的に研修内容を確認し現時点での自身の習熟度と目標点を比較、さらに課題を抽出しその月の小さな目標を立てていました。同じ職場で動く先輩たちからの評価をタイムリーに知る事が出来る為、自身の足りない点や求められている事をすぐに実践することができ、自身の成長を業務のなかで感じる事が出来ました。プリセプターとは半年間一対一で面談する機会がある為、業務に慣れ始めた時期での小さな疑問も質問しやすく、すぐに課題点の修正が行え、日々できることが増えていく事を実感できました。入職してからの一年間を振り返ると多くの失敗や躓きがあったものの、それらをそのままにせず、すぐに修正することができていたと実感しました。

今後は日常業務の改善だけでなく受け持った担当利用者さんへいかに介護していくか、技術だけでなく知識の向上を目標に取り組んでいきたいと思えます。

1年間の成長

仁誠会クリニックながみね 准看護師

入職して1年が経ち、振り返ってみると経験したことのない透析看護として、学校と仕事を両立させながら忙しくも充実した1年を過ごすことができました。要領よく仕事ができる方ではないので、自分に自信がなく患者さんにも不安を与える看護ばかりしてしまいましたが、先輩に指導して頂きながら少しずつ仕事をこなすことができるようになり、患者さんともコミュニケーションを取れるようになってきて、患者さんからありがとうを言って頂けることで自信に繋がりと、看護の楽しさを知ることができました。

1年間の成長

仁誠会クリニックながみね 臨床工学技士

臨床工学技士として、仁誠会の職員として1年が経ちました。入職当初は、患者さんにどこまで踏み込んでいいかわからず距離が出来てしまっていました。しかし、先輩スタッフの対応をみて学び、血圧ノートへのコメントを行っているうちに顔と名前を覚えて頂きました。今では世間話をしながら日頃の生活の情報収集を行うことが出来るようになりました。先輩スタッフだけでなく患者さんにも対応がうまくなったねと言って頂く機会が増えたことで自分の成長を感じる事が出来ました。

これからも周囲への感謝の気持ちを忘れず、日々の成長を感じられるようさらにスキルアップしていきたいと思えます。

1年間の

私たちの
成長



赤とんぼ訪問看護ステーションでの 1年間の成長

赤とんぼ訪問看護ステーション 看護師

入職当初は同行訪問を行い、楽しく経験を積み、在宅での看護の面白さや奥の深さ、利用者さんの生きる力を感じる一年でした。病院では患者さんに治療に専念して頂くことが重要視されていましたが、在宅では生活の一部に医療や看護があるのだと感じました。いかに利用者さんの心身ともに健やかな在宅生活を支えることができるか、訪問看護師の腕の見せ所だと思えます。利用者さんにご家族に寄り添い、看護の視点、技術共に自己研鑽に努めたいです。

1年間の成長

仁誠会クリニック新屋敷 臨床工学技士

私が1年間を通じて、成長した点は責任感です。医療人、社会人として成長できた年になったと感じています。学生の頃に比べて、処置1つにおいても、最後まで責任を持たなければならない事から、事前に情報収集や準備をしておくなど責任を持って行動する癖がついてきました。責任に伴って自分で取捨選択する機会も増えてきたと感じます。

来年度もすべき事が増えてくるとは思いますが、より責任を持って成長できるように精進します。

新たな学びを深めた1年

仁誠会クリニック光の森 看護師

私は、昨年まで急性期の病院で勤務をしており、透析患者さんと関わる事がないわけではありませんでした。透析業務に携わることは初めてでした。この1年間で透析に関わる様々な技術や知識を学ぶことができました。それ以上に学びが大きかったと思うことが、慢性期疾患の患者さんとの関わりでした。急性期では同じ患者さんに継続的に関わる事は少なく、患者さんの病みの軌跡を知ることで患者さんの人生を考えながら、患者さんと共に治療を行っていくことの大切さを学ぶことができました。

成長と還元

仁誠会クリニック黒髪 臨床工学技士

私はさまざまな業務を行う中で、医療人・社会人として大きく成長できた。臨床では、責任が多く一つの業務を的確に行う必要があり、多くの患者さんを受け持つので、仕事を効率良くすることも必要であった。プリセプターやチューターなどに多く支えられ、的確な指導をしていただいたおかげで出来ることも増え、独り立ちをすることができた。

今後は、一人でやる仕事が多くなった分責任感をもち仕事をすることで、さらに成長し知識と技術を併せ持った技士になりたい。

この一年で成長することができました

ケアセンター赤とんぼ入所科4階 介護福祉士

入職して間もない頃は、何をやるにしても不安でした。分からないことは聞かないといけないと思っていても、聞けず時間だけが過ぎることもありました。また、優先順位が分からず、時間内に仕事を終わらせることができませんでした。今では、分からないことはその場で聞いて解決し、自分の中で優先順位をつけて仕事ができるようになりました。そして、時間を見ながら次の業務に移ることができ、時間内に仕事を終えることができるようになりました。

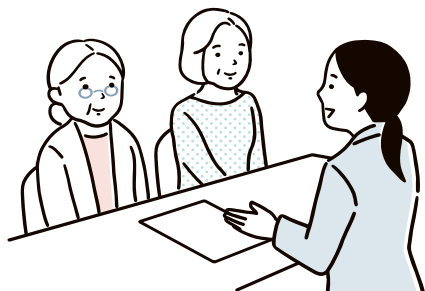
次年度も介護の専門職として更なる成長の為、分からないことはそのままにせず解決していきながら、一つひとつ成長していきたいです。

入職してからの学び

ライフジャパン 赤とんぼ大津 フロント

入職した当初は、社会人1年目で大きく環境も変わり、介護や事務に関する知識もなかったため、業務を覚えるのに精一杯でした。事務の仕事としては、1日の業務スケジュールをこなすだけでなく、臨機応変に対応していかなければならないことも多く、周囲の状況を把握して行動することが大切だと思いました。

入職して約1年経ち、仕事にも慣れてきて、次のことを考えて業務を進めていくことができるようになりました。これからも初心を忘れず、業務を一つ一つの確にに取り組んでいきたいと思えます。



視野を広く持つことの大切さについて

ケアセンター赤とんぼ通所リハビリテーション科
健康運動実践指導者

入職してすぐに、先輩方からは視野を広く持つ必要があると指導を受けていましたが、当初の私はただ見ていることしか出来ていなかったように思います。しかし、仕事を続けていく中で、情報を得ることが状況に合わせた対応に繋がることに気づかされました。それからはより積極的に利用者さんと関わり、少しずつ「ありがとう」の言葉をいただくことが増えたように思います。

私たちの仕事は、少しの見逃しが命にかかわることもあります。より広い視野で安全に生活して頂けるように努力を続けていきます。

1年間の成長

仁誠会クリニック大津 臨床工学技士

仁誠会クリニックに臨床工学技士として入職し、1年が経とうとしています。

初めは患者さんの顔や名前も一致せず苦労していましたが、患者さんとの会話も増え、今ではたわいもない会話もできるようになりました。

また入職当初は全く分からなかったマシンのことも、先輩が点検するところと一緒に見学したり、教えて貰うことで部品の交換や簡単なメンテナンスが出来るようになりました。

今後も更に成長していけるよう日々の業務をしっかりと行っていこうと思えます。

多くの学びを得て成長できた1年間

ケアセンター赤とんぼ 管理栄養士

この1年を振り返ると、自分自身成長を感じることができた1年でした。最初の頃は慣れること・覚えることに精一杯でしたが、プリセプターの先輩をはじめ先輩方が一つ一つ丁寧に手厚くご指導下さるおかげで、日々できる業務が増えています。

日々の業務の中で利用者さん、患者さん、ご家族、他職種のスタッフ…と多くの方と関わり、コミュニケーションの大切さを感じています。

最初は、利用者さんの人数が多く名前や顔を覚えることに苦戦しました。自分から声を掛けコミュニケーションを図ることを頑張り、今では利用者さんから声を掛けていただくことも増え嬉しく思います。

実際に自分でやったことで初めて気づくことも多く、やってみたいという精神は自分の幅を広げていく上で大切だと思いました。

来年度はこの1年間での学び・成長を繋げていきたいです。先輩方のように様々な引き出しをもち、利用者さん・患者さんに寄り添った栄養ケアができる管理栄養士になりたいです。

そのためにも、知識向上のための学ぶ姿勢と挑戦する気持ちを大切に、多くの経験を積んでいけるよう頑張ります。

職員募集 医療法人社団 仁誠会

介護士・看護師

医療・介護職 施設見学会

随時
開催中

5つのクリニックと、4つの介護施設、4つの事業所。
勤務地についてはご相談に応じます

入職祝い金制度あり

※直接の応募で入職された方

最大
15
万円

資格手当、夜勤手当等、手当も充実

福利厚生が充実



★詳しくは、仁誠会ホームページ採用情報サイトを参照ください。

- ☆夜勤が出来る方歓迎
- ☆透析や福祉に興味のある方
- ☆パート勤務の方も歓迎
- ☆介護の資格の無い方もOK!
- ☆介護の資格はあるが、経験がなくて自信がない方もOK! 安心の教育制度があります
- ☆寮については、要相談

まずはお問い合わせ下さい!



お申込み
お問い合わせ

仁誠会本部：人事担当 TEL 096-360-7112 Eメール jinseikai-madoguchi@jinseikai.or.jp

医療法人社団仁誠会 相談窓口 (透析・介護のことなら何でもお気軽にご相談下さい)

仁誠会クリニック黒髪

〒860-0862 熊本市中央区黒髪6-29-37
TEL:096-345-6533

仁誠会クリニック大津

〒869-1102 熊本県菊池郡菊陽町原水2973
TEL:096-232-9595

住宅型有料老人ホーム赤とんぼ大津

TEL:096-273-9904

通所リハビリテーション赤とんぼ大津

TEL:096-273-9902

赤とんぼ訪問看護ステーション

TEL:096-273-9908

仁誠会クリニック新屋敷

〒862-0975 熊本市中央区新屋敷1-14-2
TEL:096-211-5151

仁誠会クリニック光の森

〒869-1108 熊本県菊池郡菊陽町光の森3-1-1
TEL:096-285-3466

仁誠会クリニックながみね

〒861-8043 熊本市東区戸島西2-3-10
TEL:096-331-2211

介護老人保健施設ケアセンター赤とんぼ

TEL:096-331-3737

赤とんぼ居宅介護支援事業所

TEL:096-331-3811

赤とんぼ訪問介護事業所

TEL:096-331-8879

介護付き有料老人ホーム赤とんぼ長嶺

〒861-8039 熊本市東区長嶺南6丁目25-97
TEL:096-368-8800

小規模多機能ホーム赤とんぼ長嶺

TEL:096-368-8885

★赤とんぼ保育園(赤とんぼ長嶺敷地内)

TEL:096-288-9860

●個人情報保護について●

仁誠会では、当施設が保有している患者さん、その他関係者の個人情報に関して、関連法令・他法令を遵守し、個人情報の保護に取り組んでいます。個人情報は、当法人からの医療や介護サービスに関わる情報のご案内以外、他の目的には使用いたしません。

仁誠会窓口メールアドレスjinseikai-madoguchi@jinseikai.or.jp

